

ライラックファーマ株式会社の株式取得（子会社化） に関するお知らせ

株式会社日本触媒（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：野田和宏、以下「日本触媒」）は、ライラックファーマ株式会社（本社：北海道札幌市北区、代表取締役：須佐太樹、以下「ライラックファーマ」）の全株式を2024年12月9日付で取得し、100%子会社化いたしましたことをごお知らせいたします。

化粧品や医薬品において、リポソーム*¹などの脂質ナノ粒子は内包有効成分の安定性や浸透性の向上などに寄与することから、有効成分を配合した製品の高付加価値化を可能とする画期的な素材として注目が高まっております。

ライラックファーマは北海道大学発のスタートアップ企業で、脂質ナノ粒子の「大きさ」などに注目した脂質ナノ粒子製造技術をベースにビジネスを展開しております。独自の「iLiNP®マイクロ流路デバイス」*²は、従来の方法とは異なり大きさが揃った高品質の脂質ナノ粒子を容易に連続生産することが可能です。更にその大きさも幅広く調節できることから、高機能の脂質ナノ粒子を製造する技術として期待されており、化粧品や医薬品向けに提供しております。

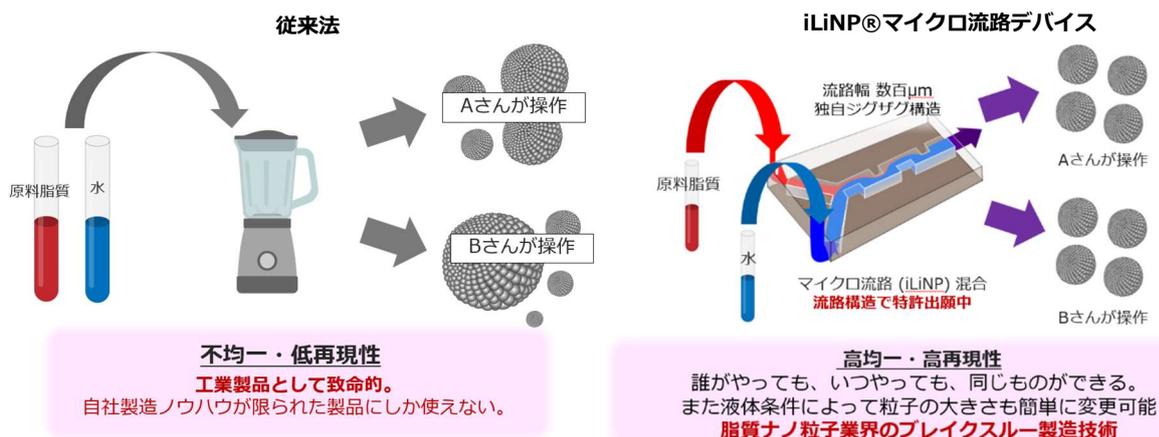


図 従来法（バッチプロセス）と iLiNP®マイクロ流路デバイス

日本触媒は、2017年に化粧品事業室（当時:化粧品準備室）を新設し、保有製品・技術を活用した化粧品素材の開発推進や、提携による素材・配合技術の獲得を進め、現在では15製品を超える化粧品素材のラインナップを展開しております。また、健康・医療事業室では中分子原薬の合成・分析技術を確立し、核酸とペプチドのCDMO事業を展開しております。

日本触媒とライラックファーマは、2019年から共同研究を開始し、これまでに安定性が非常に高い複数の化粧品用リポソームの開発に成功しています。日本触媒は、ライラックファーマを100%子会社化することで、リポソームの開発効率向上や安定供給体制の構築を加速させ、これまで日本触媒が培った様々な分野の知見を活用することにより、化粧品事業および医薬品向けナノ粒子事業のさらなる拡大を目指してまいります。

* 1 : 脂質二重膜からなる粒径 20~200nm の程度の粒子です。不安定な素材を内包させることにより安定性を向上させ、皮膚への浸透性を高めます。

* 2 : ライラックファーマのコア技術で、特許の独占使用許諾を北海道大学から取得しております。iLiNP®はライラックファーマの登録商標です。

【ライラックファーマ概要】

名称 : ライラックファーマ株式会社

所在地 : 北海道札幌市北区北 21 条西 12 丁目北海道大学構内 北海道産学官協働センター
(コラボほっかいどう)

代表者名 : 代表取締役 須佐太樹

事業内容 : ①医薬品、化粧品などの研究開発

②知的財産権の許諾及び売買

③医薬品、化粧品などの研究開発にかかる調査、コンサルティング

資本金 : 14.1 百万円

設立 : 2016 年 4 月 18 日

Web サイト : <https://www.lilacpharma.com/>

以上

日本触媒について :

1941 年の創業以来、自社開発の触媒技術を核としてグローバルに活動する化学メーカー。紙おむつに使われ、世界 1 位のシェアを誇る高吸水性樹脂 (2024 年当社調べ) やリチウムイオン電池材料など、人と社会から必要とされる素材・ソリューションをお届けします。グループ企業理念「TechnoAmenity ~ 私たちはテクノロジーをもって人と社会に豊かさと快適さを提供します」のもと、長年培ってきた技術力を通じて皆様に豊かさ・快適さを提供しています。

詳しくはこちら : <https://www.shokubai.co.jp>

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2

E-mail: shokubai@shokubai.co.jp